

## 基本目標Ⅳ 誰もが安心して暮らせる社会づくり

体系一覧(第2次小城市男女共同参画プラン) ~男女がともに認めあい、支えあい、希望あふれる小城市をめざして~							
施策の方向	基本事業	事業	担当課	現状値	①実績値	②平成29年度実績 (事業の内容・取り組み状況)	目標値
				27年度	29年度		33年度
<b>(1) 生涯を通じた心と身体の健康づくりの推進</b>							
<b>① 生涯を通じた心と身体の健康づくりの支援</b>							
	37	児童生徒の発達段階に応じた思春期の保健教育を実施する。	学校教育課	—	○	・保健体育や保健学習で取り組んでいる。	○
	38	妊娠・産後期や更年期など女性の健康管理について支援する。	健康増進課	—	○	・妊婦に対して、パパママ教室の中で歯の健康管理について健康教育を行っている。年3回 延44人参加。	○
	39	心の健康に関する情報提供を行い、健康相談を実施する。	健康増進課	—	○	・臨床心理士による相談会を実施している。10人参加。	○
	40	エイズ/HIV、性感染症の予防等に関する情報提供を行う。	健康増進課	—	×	未実施	○
<b>(2) 生活に困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境づくり</b>							
<b>① 支援を必要とする家庭等が安心して暮らせる環境の整備</b>							
	41	ひとり親に対して、児童扶養手当やひとり親家庭等医療費の助成等により経済的支援を行う。	社会福祉課	—	○	・児童扶養手当支給事業、ひとり親家庭等医療費助成事業を実施した。平成29年度末、児童扶養手当受給者数:400人	○
	42	ひとり親の自立に向けた能力開発のための相談や支援を行う。	社会福祉課	—	○	・母子・父子自立支援員による就労支援、自立支援プログラム(県事業)の実施・同行、高等職業訓練促進給付金等事業を行った。自立支援教育訓練給付金1人、高等職業訓練促進給付金8人、高等職業訓練修了支援給付金4人	○
	43	高齢者の介護予防と生活支援体制の充実を図る。	高齢障がい支援課	—	○	・生きがい対応型デイサービス(137人、延べ3,590人)、高齢者ふれあいサロン事業(8,155人、86か所)、訪問指導事業(348人)、通所型介護予防事業(参加実人員160人 延べ人員1,979人)、一般介護予防事業(百歳体操 参加実人員309人、18か所、オレンジ大学 参加実人員 63人延べ人員903人)	○
	44	障がいのある人の自立と社会参加を支援する。	高齢障がい支援課	—	○	・特別障害者手当や障害児福祉手当などの経済的支援や児童発達支援や放課後等デイサービスを行い、障がい児の自立支援を実施している。 ・学校から社会、在宅から社会参加(訓練や就労)について、障がい福祉サービスの中で利用者のニーズに対応できるような施策を実施している。	○
	45	ひとり親・障がい者・高齢者の相談体制の充実を図る。	社会福祉課	—	○	・母子・父子自立支援員1名を配置し、相談体制の充実を図った。延べ相談件数:197件	○
			高齢障がい支援課		○	・小城多久障害者相談支援センター支援事業、障害者相談員活動事業、障害者巡回相談開設、地域包括支援センターの総合相談事業を実施している。	
	46	在住外国人に外国語版母子健康手帳を交付する。	健康増進課	—	—	該当なし。	○

基本目標Ⅳ 誰もが安心して暮らせる社会づくり

体系一覧(第2次小城市男女共同参画プラン) ~男女がともに認めあい、支えあい、希望あふれる小城市をめざして~								
施策の方向	基本事業	事業	担当課	現状値	①実績値	②平成29年度実績 (事業の内容・取り組み状況)	目標値	
				27年度	29年度		33年度	
<b>(3) ハラスメント等の防止</b>								
<b>① ハラスメントと性暴力被害の防止</b>								
		47	ハラスメントの防止に向けた意識啓発を行う。	企画政策課	—	○	・市内事業所を対象にアンケートを実施し、ハラスメントについての理解度や防止対策の取組状況を把握するとともに意識啓発を図った。	○
		48	ハラスメントや性暴力被害の相談窓口を周知する。	企画政策課	—	○	・公共施設のトイレへ性暴力被害の相談窓口「性暴力救済センターさがmirai」のリーフレット設置。	○
		49	市職員のハラスメント研修を充実し、庁内相談窓口の周知を図る。 【数値目標】ハラスメントに関する市職員研修会の受講者数	総務課	149人	48人	・ハラスメント相談員研修会 参加者:18人/21人 ・パワーハラスメント防止職員研修会(伝達研修) 参加者:30人/58人 対象:課長・副課長級	300人